

令和6年度 総務部 重点施策の実施結果

達成
状況

- S … 目標を上回る結果となった
A … 目標通り達成した
B … 達成したが課題が残っている
C … 達成できなかった

総 括

・ 市政情報やまちの話題、市の魅力などを公式SNSを活用して積極的に発信しました。また、フォロワー数増加を目的に、公式SNSをフォローしてくださった人を対象とした市の名産品が当たるプレゼントキャンペーンを実施した結果、公式SNSのフォロワー数は合計23,186人となりました。今後も、公式SNS等を活用した情報発信を行い、本市の魅力の発信に努めます。

・ 市制20周年記念事業については、36件の冠事業に、延べ49,287人が参加しました。多くの市民の皆さんや関係者とともに本記念事業と一緒に作り上げることで、まちの魅力や地域の資源を再認識するとともに、ふるさとに愛着を感じ、未来に向けて夢と希望に溢れたまちを引き継いでいくことができました。

・ 菊川市長・市議会議員選挙の投票率は、市長選挙の投票率が58.37%、市議会議員選挙の投票率が58.36%となったため、目標である前回の市議会議員選挙の投票率（60.05%）を下回り、目標達成にはいたりませんでした。引き続き、若年層への多様な啓発活動が続けることで、主権者教育として中期的な視点での投票率向上に取り組めます。

・ 菊川市地域公共交通計画（令和8年度～）を策定するため、令和6年度は公共交通の利用実態やニーズに関する調査等を行い、市内の公共交通の現状と課題をまとめることができました。令和7年度は、6年度に実施した調査等の分析結果を踏まえた計画書案を作成し、議会への説明、パブリックコメントを行い、完成した計画書を市ホームページで公開します。

・ 第4次菊川市男女共同参画プラン及び第4次菊川市多文化共生推進行動指針の中間見直しを行うため、計画に掲載の指標・事業の取組状況についてヒアリングを行い、目標値や事業内容の見直しを検討し、庁内推進委員会等において見直し内容を承認いただくことができました。今後も男女共同参画・多文化共生社会の実現に向け、見直し後のプラン、指針に基づき各種事業に取り組むことにより、多様性を認め合い、誰もが安心していきいきと暮らせる住み良いまちづくりを進めてまいります。

	重点施策・事業	取 組 内 容	達成目標	達成 状況	実施結果
1	広報・情報発信の 強化 (市長公室)	市民の皆さまが知りたいこと、暮らしに必要な情報を、広報紙・市ホームページ・SNS、テレビのデータ放送等、あらゆる媒体を組み合わせ、確実に分かりやすくお届けします。また、市の魅力や取組を市内外の皆さまに知っていただくため、SNSを活用し積極的に発信していくとともに、テレビや新聞等のメディアに取り上げていただくため、効果的なプレスリリース資料の作成や、Webメディアの効果的な活用を図ります。	市公式SNS (X、Facebook、Instagram、LINE、YouTube)のフォロワー数（登録者数）を21,000人以上にします。 (令和6年3月末現在20,096人)	A	市政情報やまちの話題、市の魅力などを公式SNSを活用して積極的に発信しました。また、フォロワー数増加を目的に、公式SNSをフォローしてくださった人を対象とした市の名産品が当たるプレゼントキャンペーンを実施しました。その結果、x(旧Twitter)、Facebook、Instagram、LINE、YouTubeのフォロワー数は23,186人となりました。

	重点施策・事業	取 組 内 容	達成目標	達成 状況	実施結果
2	市制20周年事業の実施 (市長公室)	市制20周年は、これまでの歩みを振り返りながら、まちを支えるすべての皆さまに感謝を伝え、新たな歴史のスタートを祝う記念の年であるため、「感謝とともに、未来への一步」を基本理念（テーマ）に、市又は市が参画する実行委員会形式で実施する様々な特別事業を企画し、年間を通して実施します。また、多くの市民や関係者の皆さまと記念の年を盛り上げていくため、地域や民間企業、各種団体等が中心となって企画・実施する冠事業を募集・PRします。	市制20周年記念冠事業を30件以上承認します。	A	市制20周年記念冠事業については36件を承認しました。冠事業参加人数は延べ49,287人であり、多くの市民に市制20周年記念をPRすることができ、市全体で盛り上げることができました。 また、市主催の事業は25事業開催し、延べ40,717人に参加いただきました。
3	菊川市長・市議会議員選挙における投票率の向上 (総務課)	投票率の向上に向け、出前行政講座などの常時啓発に加え、広報紙や市ホームページ、テレビのDボタン、茶こちゃんメール、ターゲティング広告など、様々な媒体を組み合わせた選挙啓発を実施します。特に若年層に対しては、SNSなどを活用した“伝わる啓発”に取り組めます。	令和7年1月執行予定の菊川市長・市議会議員選挙の投票率を前回の市議会議員選挙の投票率（60.05%）以上にします。 ※前回の市長選挙は無投票	C	菊川市長選挙・菊川市議会議員選挙を令和7年1月26日に執行し、市長選挙の投票率が58.37%、市議会議員選挙の投票率が58.36%となったため、目標である前回の市議会議員選挙の投票率（60.05%）を下回り、目標達成にはいたりませんでした。 投票率向上のための取組内容としては、出前講座などの常時啓発に加え、広報紙や市ホームページ、茶こちゃんメール、ターゲティング広告を実施するとともに、今回の新たな取組として、小学生がデザインした作品を使用した臨時啓発ポスターの作成、高校生と協働による啓発物品（のぼり旗、子ども向け記念証、投票証明書）の作成などを行いました。 今回、若年層を巻き込んだ啓発活動の経験を得たことから、今後も若年層への多様な啓発活動を続けることで、主権者教育として中期的な視点での投票率向上に取り組めます。

	重点施策・事業	取 組 内 容	達成目標	達成 状況	実施結果
4	地域公共交通計画の策定準備 (地域支援課)	次期「地域公共交通計画」の策定に向け、目指すべき将来の地域公共交通のあり方を検討するため、市民アンケートや公共交通利用実態調査などを実施し、現状把握及び分析を行います。	次期「地域公共交通計画」の策定に向け、市民アンケートや公共交通利用実態調査の結果を成果書として取りまとめます。	A	令和8年度からの5年間を期間とする次期計画を6・7年度の2か年で策定するため、今年度は公共交通の利用実態やニーズに関する調査を中心に作業を進めました。 10月から3月にかけてアンケート調査（市民・高校生）、ヒアリング（主要施設・交通事業者）、公共交通実態調査、地区別意見交換会を実施し、市内の公共交通の現状と課題をまとめました。
5	第4次男女共同参画プラン及び第4次多文化共生推進行動指針の中間見直し (地域支援課)	令和6年度は計画の中間年度にあたることから、取組みを実践する担当課と協議し、男女共同参画推進懇話会や多文化共生庁内推進委員会等にお諮りするなか、必要に応じて指標の設定や取組内容の見直しを行います。	「第4次男女共同参画プラン」と「第4次多文化共生推進行動指針」の見直し内容を報告書にまとめ、公表します。	A	プラン及び指針に掲載の指標・事業の取組状況について各担当課とのヒアリングを行い、既に中間目標及び最終目標を上回っている項目や諸事情により廃止となってしまった事業などについて、目標値や事業内容の見直しを検討しました。 各課ヒアリングの結果を取りまとめ、1月の庁内推進委員会及び2月の男女共同参画推進懇話会において見直し内容の説明を行い、承認いただいた内容を報告書として市ホームページで公表しました。